

ニュージーランドから地震工学の研究者が来所

2013年4月17日の午前、ニュージーランドから、Dr Richard Sharpe (ベカ地震工学部技術部長)、Dr Stefano Pampanin (カンタベリー大学工学部准教授 / NZ 地震工学学会会長)、Dr Robert Finch (カンタベリー大学地震研究所所長)、Dr Nawawi Chouw (オークランド大学地震工学研究所所長)、Dr SR Uma (GNS サイエンス研究所地震工学専門家)、Mr. Adrian BENNETT (ビジネス・イノベーション・雇用省チーフアドバイザー (建築科学技術)、Mr Stefan Corbett (First Secretary, New Zealand Embassy Tokyo)、高塚雄一 (外務省アジア大洋州局大洋州課 オーストラリア・ニュージーランド班) の8名が来所されました。

最初に大志万直人所長、川瀬博副所長から歓迎の挨拶があり、防災研究所紹介DVDの上映後、中島正愛教授が防災研究所の概要、研究内容について説明を行いました。続いて、中島正愛教授司会のもと、田中仁史教授、林春男教授、飯尾能久教授、釜井俊孝教授、高橋良和准教授、倉田真宏助教を交えて、地震災害対策に関する防災・耐震についての意見交換を行いました。

本研究所は2011年2月22日に発生したニュージーランドのクライストチャーチ地震以降、ニュージーランドでの地震時の災害対策について共同研究を実施してきており、今後も研究協力していくことを確認、MOUを締結した場合の実効性について議論しました。

